

なべくら高原・古民家映画祭

取り組みに至る背景・事業の目的

過疎化及び一部住居の荒廃が進む飯山市の最北端に位置するなべくら高原の活性化を図ることを主目的とし、古民家があることで美しい景観が守られていること、景観を守ることで観光という産業に結びつく、ということを考えるきっかけとするために映画祭を開催した。

事業内容

飯山市の昔ながらの里山景観は、非常に価値ある観光資源の一つとして考えられる。しかしながら、過疎化が進む地域では貴重な資源である古民家が失われつつあるのが現状である。そこで、古民家の価値を地元の人々及び都会に暮らす人々に知ってもらうために、古民家で映画を見るというイベントを行った。

イベント内では映画のみではなく、飯山の食材を使った料理を提供し地域の別の魅力も知っていただくこととした。映画上映：4回、ワークショップ：1回、音楽会：1回、集落散策：1回



【古民家映画祭会場に向かう参加者】

事業効果

地元住民にとっては、古く住みにくい、というイメージであった古民家が、違う地域の人々から直接的に賛辞を受ける、ということは非常に大きな精神的な満足を与える結果につながった。

映画という誰もが親しめる媒体によって、地元の人々にも、また都市部の人々にもなべくら高原を訪れる門戸を広げることができた。

<参加者数>ワークショップ：14名、音楽会：19名、映画祭第一部：16名、集落散策：2名、映画祭第二部：10名、映画祭第三部：17名、映画祭第四部：15名 合計：93名



【映画祭後に行われた会食の様子】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

なべくら高原・古民家映画祭を通して県外のお客様及び近隣住民の方から非常にいい試みであったと、直接お言葉をいただくことができた。古民家というこの地域ならではの貴重な資源を後世に伝えていくためにも、なべくら高原の定着したイベントと認識していただけるよう年次イベントとして行っていくことが必要であると考えている。

【選定のポイント】

「古民家」×「映画祭」×「地域食材」というユニークな取組でモデル性が高い。規模は小さくても地域と密接した着実な取組に育て上げられる可能性を感じる。

古民家というこの地域ならではの貴重な資源を後世に伝えていくためにも、なべくら高原の定着したイベントとして観光客をはじめ地域にも認識してもらえよう、今後も引き続き様々な可能性を検討してほしい。

団体名	なべくら高原・森の家（飯山市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0269-69-2888	事業費	1,025,529円
ホームページ、メールアドレス	info@nabekura.net	支援金額	800,000円

